

荒川一・三丁目、南千住一・五丁目にお住まいの皆様へ

防災 マガジン

Vol.1

【写真提供：UR 都市機構】

住みよいまちにしていくために
“防災まちづくり”を
一緒に考えてみませんか



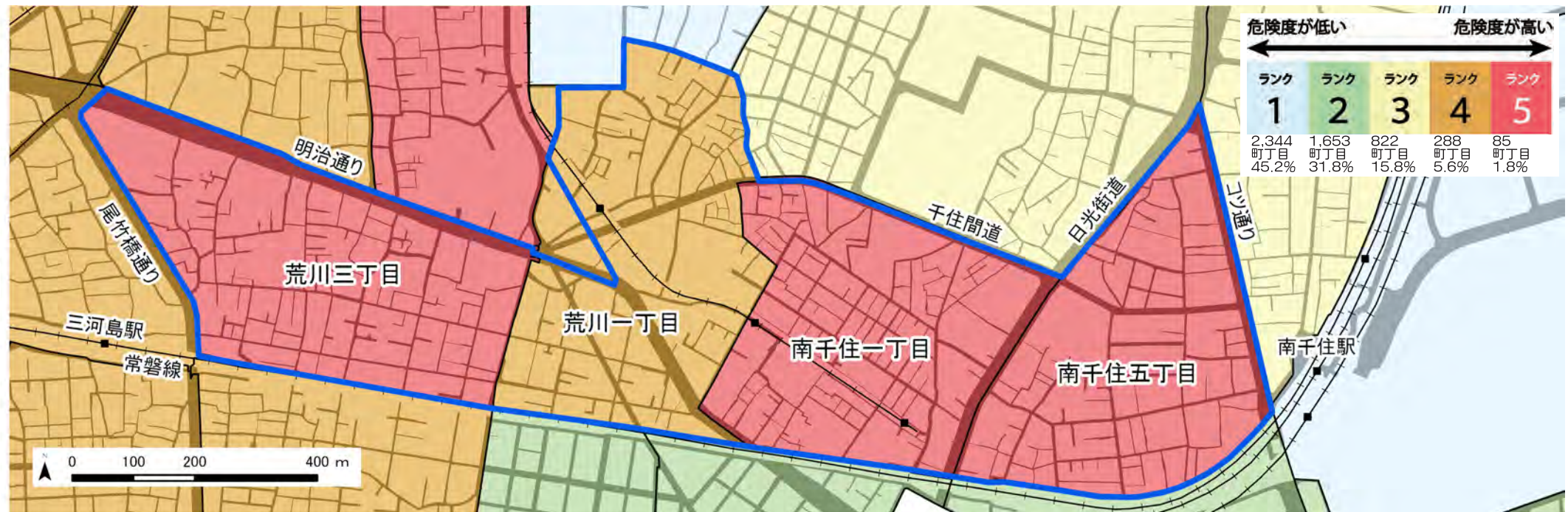
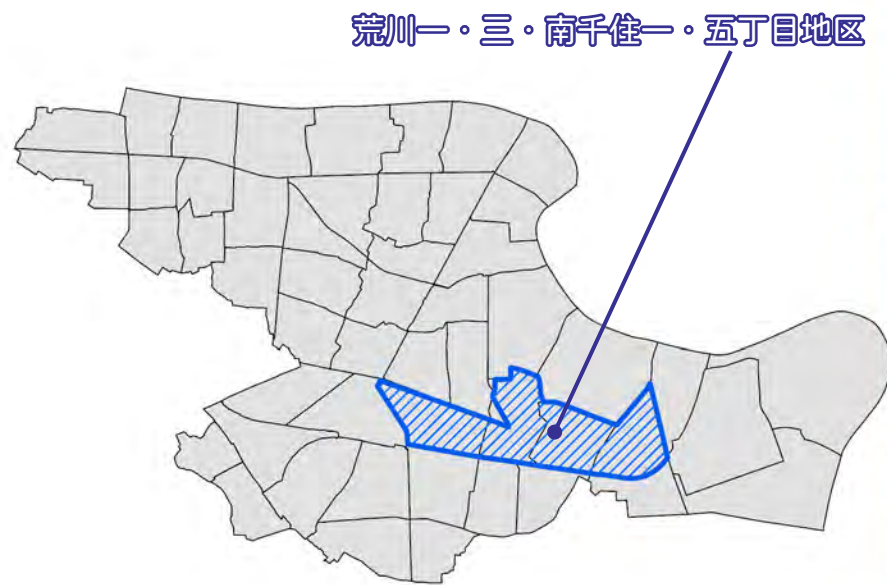
荒川区

荒川一・三・南千住一・五丁目地区には様々な防災上の課題があります

建物倒壊や火災の危険性が高く、災害時の活動がしにくい

東京都では、5,192 町丁目を対象に、地震による建物倒壊や火災の危険性、災害時活動の困難度を1つの指標にまとめた地域危険度を公表しました。その中の総合危険度ランクでは、荒川三丁目、南千住一・五丁目、南千住一・五丁目が最も危険度が高い「ランク5」、荒川一丁目「ランク4」となっています。

災害が起きたらどこで被害が起きやすいかな？

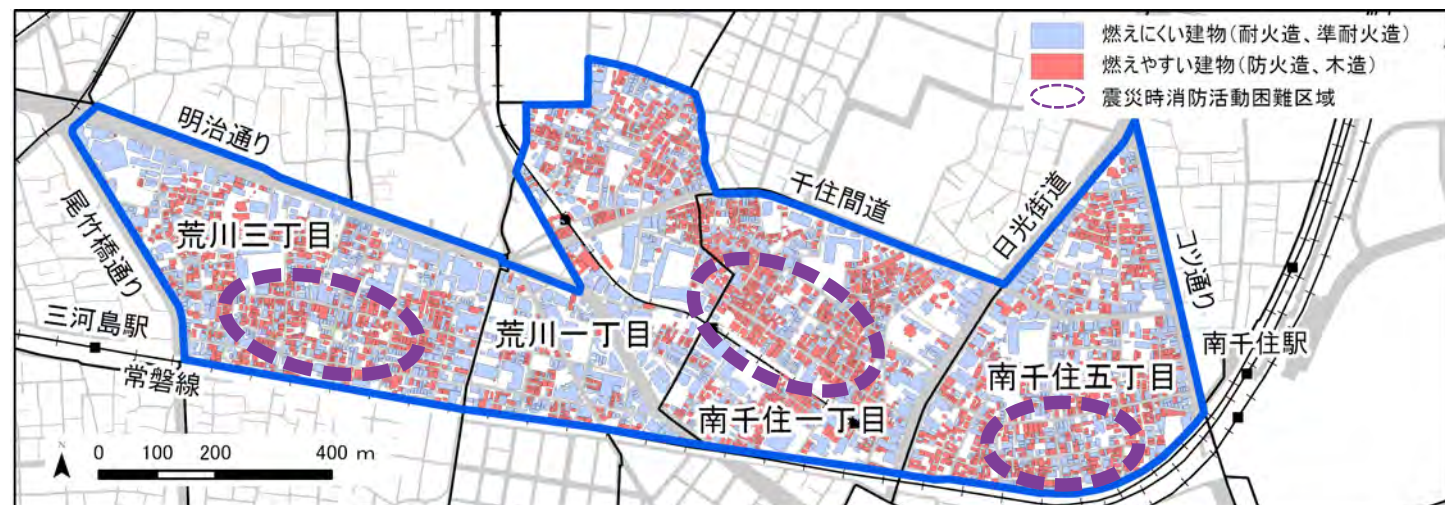


地震に関する地域危険度測定調査（第9回）より作成

幹線道路や常磐線の内側に燃えやすい建物が密集しているため、火災が起きたら延焼しやすく、消防活動がしにくい区域がある

明治通りや尾竹橋通りなどの幹線道路の内側には、燃えやすい木造などの小規模な建物が密集しているため、災害時に火災が延焼しやすい危険が大きいと考えられます。

また、道路が狭いと消防車が通れず、消防活動が困難になると考えられています。東京消防庁では、幅6m以上の道路から消防ホースが届かない140m以上離れたエリアを「震災時消防活動困難区域」としており、荒川三丁目の南側、南千住一丁目の中央、五丁目の南側に広がっています。



平成28年度土地利用現況調査より作成

危険度が高いまちでは、こんな被害が起こる可能性もある

● 建物が倒壊すると・・・



出典：神戸市

倒壊した建物によって道路がふさがり、消防や救出の活動や避難ができなくなることがあります。

● 火災が発生すると・・・



出典：神戸市（人・街・ながた被災資料室）

比較的燃えやすい木造の建物が密集しているまちでは、延焼して大きな火災になる可能性があります。

一緒に“防災まちづくり”を考えてみませんか？

荒川一・三・南千住一・五丁目地区は、震災時に倒壊・延焼しやすい建物が密集しており、道路が狭く消防活動が困難な区域が広がっているなど大きな被害が生じる恐れがあります。

少しでも地震による被害を小さくするために、どのような取組みが必要か、一緒に“防災まちづくり”を考えてみませんか？

1



まちの課題や資源について 確かめてみましょう

- 消火や救出の活動、避難がしやすい道路はありますか？



- 一時的な避難場所として使える公園・広場はありますか？



- 震災時に倒壊したり、燃えやすい建物はありますか？



防災の視点で、今のまちを確認してみよう

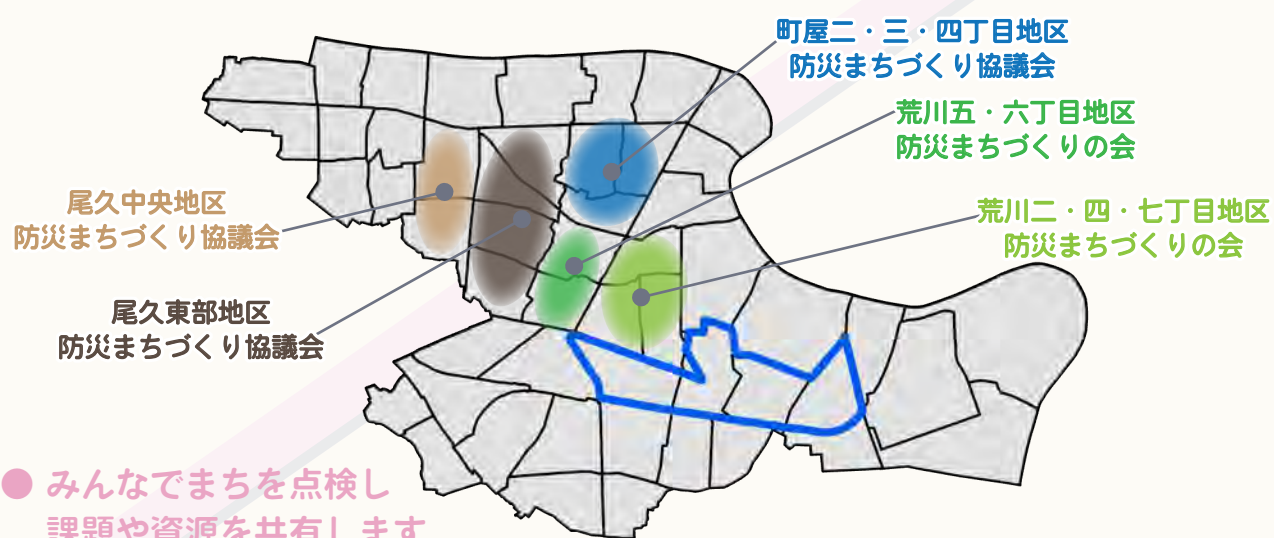


2



安全・安心なまちにするためにみんなで話し合ひましょう

- 区内には、既に住民の方が“防災まちづくり”に取り組んでいる地域があります



- みんなでまちを点検し課題や資源を共有します



- 話し合いから必要な取組みを考えます



荒川区では、令和5年度からワークショップなど話し合いの機会を考えています

まずは、みんなで話し合ってみることが大事なんだね



災害に強いまちに向けて

3



“防災まちづくり”を進めましょう

- 消防活動がしやすい道路の整備



- 災害時にも役立つ公園・広場等の整備



- 燃えにくい建物への建替えの促進



コラム

● 防災まちづくり協議会が設立されている地区ではまちづくりルールを定めています

● 各地区では、災害に強いまちを実現するため、まちづくりルール（地区計画）を定めています。

● まちづくりルールは、防災まちづくり協議会の方を中心に、ワークショップや意見交換会を行いながら、検討しました。



災害時に安全なまちを目指した取組みを始めています

建替えなどの支援を行っています 令和7年度まで

区では、災害時に安全なまちを目指して、建物の解体や建替えに関するお悩み解決に向けた専門家派遣、住まいにまつわる様々なご相談に応じる住まいの相談会の開催、建物の解体や建替えに伴う費用の一部助成などの支援を行っています。(不燃化特区支援制度)

01 専門家を無料で派遣



権利の移転や建替え等に関する相談に対し、**専門家を無料で派遣**
(専門家：建築士、弁護士、司法書士、税理士、土地家屋調査士、ファイナンシャルプランナー)

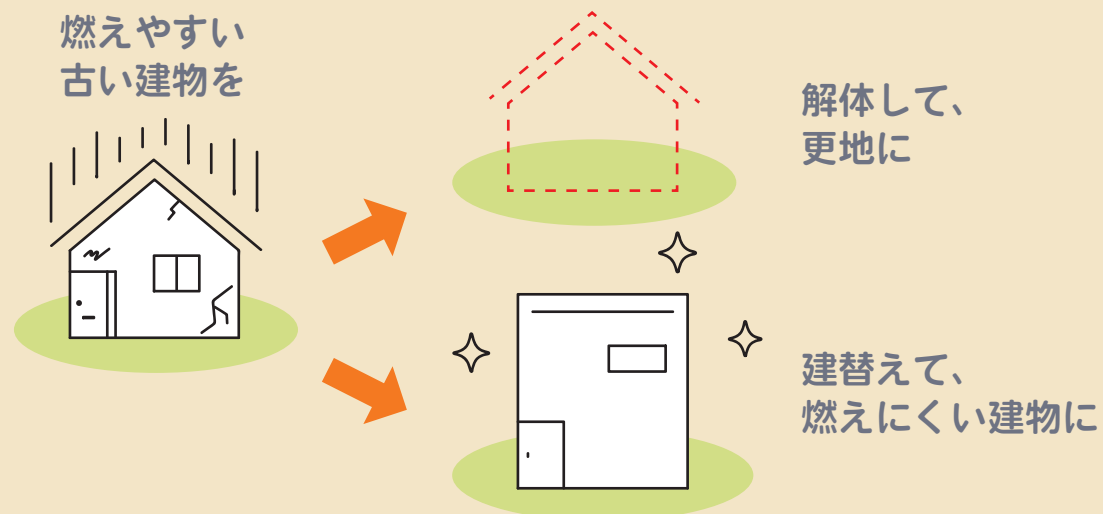
02 住まいの相談会の開催



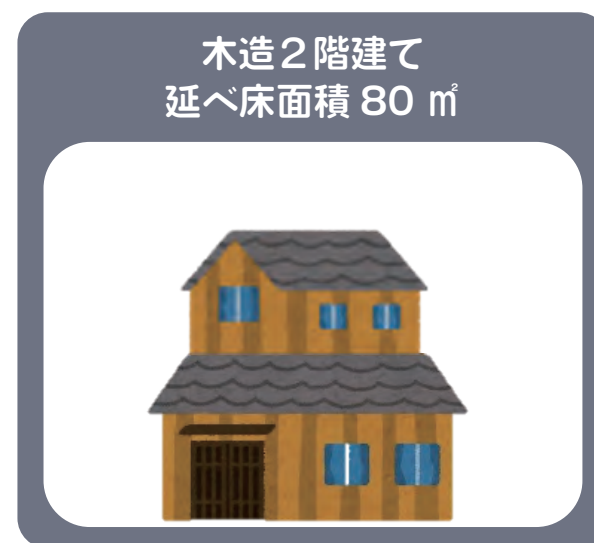
建替えや解体に関する、様々なお悩みや助成制度等について、**建築士や弁護士などの専門家と、区職員が個別に相談**

03 解体や建替えに伴う費用の一部を助成

燃えにくい建物への建替えなどを促進するため、**老朽化した木造建物の建替え等にかかる費用の一部の助成**



不燃化特区支援制度を使って建て替えると



建替え費用 (一例)

解体費	198万円
建築工事費	3,100万円
建築設計費 工事監理費	220万円
合計	3,518万円



助成金額 (一例)

解体費	180万円※
建築設計費 工事監理費	190万円
合計	370万円

※消費税相当額は助成の対象外です

この場合だと、**1割くらい**は助成されるんだね



詳しくお知りになりたい方はこちらへ

助成を受けるには要件があります。
詳しくは8ページの【お問合せ先】までお問合せいただくか、右記二次元コードの区ホームページにあるパンフレットをご覧ください。



不燃化特区制度紹介ページ



<不燃化特区の支援制度の説明動画もご覧ください！>

荒川区公式チャンネル 不燃化特区

- ・検索サイトで「荒川区公式チャンネル 不燃化特区」と入力して検索。
- ・または、右の二次元コードをスマートフォン等で読み込み、YouTube 内を検索。

YouTube チャンネル



コラム

日頃の備えも大事です！

～「日常備蓄」をしてみませんか～



災害に強いまちづくりには、日頃から避難場所の確認や被災後の生活必需品の用意など、皆さん一人ひとりの取組みも必要です。

東京都の被害想定では、首都直下地震が発生した場合、電気やガスなどのライフラインの復旧に1か月程度かかると言われています。

生活するうえで必要なものは、7日分（最低でも3日分）用意しておきましょう。普段からよく食べているものや使っているものを、常に少し多めに買って置き、古いものから消費していくようにするとよいでしょう。

右の例を参考に、「日常備蓄」に取り組んでみませんか？

右記二次元コードから区ホームページの日常備蓄に関する情報をご覧ください。



少し多めに用意しておくの良いものの例

- ・水
- ・無洗米
- ・レトルトご飯
- ・乾麺
- ・ゴミ袋
- ・トイレットペーパー
- ・ティッシュペーパー
- ・常備薬
- ・手指消毒液
- ・カセットコンロ
- ・ガスボンベ
- ・携帯トイレ
- ・懐中電灯
- ・使い捨て手袋 など



このパンフレットに関するお問合せ先
荒川区防災都市づくり部 住まい街づくり課 防災街づくり係
(区役所北庁舎2階⑫窓口)
電話：03-3802-4319

令和5年3月発行